

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 14 日 (2019.11.14)

【公開番号】特開 2018-50856 (P2018-50856A)

【公開日】平成 30 年 4 月 5 日 (2018.4.5)

【年通号数】公開・登録公報 2018-013

【出願番号】特願 2016-188920 (P2016-188920)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 27 日 (2019.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ベース部材にそれぞれ回転可能に支持されて回転駆動される第 1 と第 2 のアームと、  
前記第 1 のアームの先端部が回転可能に連結される一方、前記第 2 のアームの先端部が  
回転可能かつスライド可能に連結される従動部材と、を備え、  
前記第 1 と第 2 のアームが回転することで、前記従動部材が姿勢を変化させる遊技機。

【請求項 2】

前記第 1 と第 2 のアームは、それぞれの先端部に向かうにつれて互いに近づくように延  
びる配置と、その配置とは反対側に延びかつ各前記先端部に向かうにつれて互いに離れる  
ように延びる配置とに、回転可能となっている、請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記第 1 と第 2 のアームは、同じ方向に回転する、請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記第 1 と第 2 のアームは、同じ方向に回転し、  
少なくとも一方の前記アームは、その回転範囲の途中で前記第 1 と第 2 のアームの回転  
中心軸間を通過可能な長さになっている、請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するためになされた請求項 1 の発明は、ベース部材にそれぞれ回転可能  
に支持されて回転駆動される第 1 と第 2 のアームと、前記第 1 のアームの先端部が回転可  
能に連結される一方、前記第 2 のアームの先端部が回転可能かつスライド可能に連結され  
る従動部材と、を備え、前記第 1 と第 2 のアームが回転することで、前記従動部材が姿勢  
を変化させる遊技機である。